

11月
13日

「リメンバーin岡崎」を開催予定

今年度も、岡崎市において「わかちあいの会」を下記のように開催する予定です。今後のコロナウイルス感染の状況によっては、日程変更、中止の場合もあります。

日 時 2021年11月13日(日)

場 所 岡崎げんき館 愛知県岡崎市若宮町2丁目1-1

内 容 「自死遺族の分かち合いの会」
対象：自死遺族の方限定

自死遺族によるネット座談会

「スーカフェラジオ」のご案内

他団体からのご案内です。

「スーカフェラジオ」として、自死遺族によるネット上での座談会が行われます。詳しくはホームページをご覧ください。

日時：原則 偶数月の土曜日 14:00-15:00

主催：スーカフェ名古屋

<http://gatekeeper.jp/griefsupport/sucafenagoya/>

各種相談先のご案内

行政、民間で、自死の遺族向けに相談を行っているところがいくつ

かあります。また、「こんな相談先はないでしょうか？」など、ご不明なことがあれば、会のスタッフにお尋ねください。

自死遺族向け面接相談(無料)

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377

毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこちら

要予約 052-483-2095

毎月第3火曜日 午前10時-12時

法的なことでの相談

○全国自死遺族法律相談ホットライン

電話番号：050-5526-1044

受付時間：毎週水曜日（祝日を除く）12時から15時まで

自死遺族支援弁護士

<http://www.jishiizoku-law.org/>

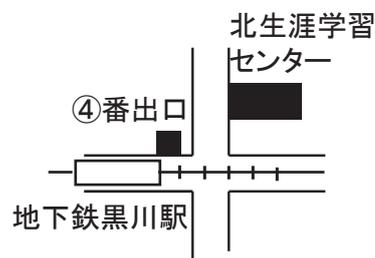
-感染への不安を減らすため、ご協力をお願いします-

- ・アルコールでの手の消毒など（アルコールは準備します）。
- ・マスクをお願いします（予備は受付で準備します）。
- ・トーキングスティック（話す人が合図として持つもの）を使わない形で行います。
- ・大きめの輪か、できるだけ弧に近い形にします。
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください。

次回の遺族会

第111回

8月7日(日)13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は・・・

第112回 10月を予定

※8月7日以降に日程が決まります。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。
パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)
090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)・・・1000円

7月～12月末までのお申し込み(後期)・・・500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。オンライン(Zoom)で参加も可能です。

日時：2022年9月25日(日) 13:30 - 16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター 3F 第2集会室

対象：家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heya.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

下記のように、自死遺族の分かち合いの会を予定されています。詳しくは、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。事前予約制です。

日時：2022年9月24日(土)

①13:30-14:45 ②15:15-16:30※各時間帯6名まで

場所：名古屋市政資料館

参加費：500円

連絡先：事前予約制 9月23日 12:00まで

cocoroibasyo@yahoo.co.jp

FAX: 0561-52-3150

090-4447-1840 <http://cocoroibasyo.org/>

また、下記のように「自死遺族支援者向け講演会」が開催されます。事前予約制です。

講演：「自死遺族の理解と支援のお作法」

講師 西野敏夫 氏(臨床心理士)

日時：2022年9月24日(土)

講義・ワークショップ:13:30-15:15

座談会：15:30-16:15

場所：名古屋市政資料館

連絡先：上記と同じ

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」による、自死遺族のわかちあい「いっぷく処」のお知らせ。次回の開催日等につきましては、下記までお問い合わせください。

連絡先：info@inochi.in

<http://inochi.in/>

りめんばー

みなさんは、どのくらい小さい時からの記憶をお持ちでしょうか。小学生以降であれば少しずつ増えていくのですが、それ以前となると、よほど強い印象のあったことを何個か、単発的に覚えているくらいではないでしょうか。

言葉の話せるようになった、4歳ぐらいの子どもに、「生まれたときのこと覚えている？」と聞いたことがあります。まだその子にとって数年前のことでもあり、もしやと思ってのことでしたが、答えは「覚えていない」でした。いろいろ聞いてみてわかったことは、赤ちゃんや幼い子どもころは、記憶できる時間が限られており、生まれ出るといっても強烈なはずの出来事も、何年にもわたって記憶し続けることは不可能なようです。

人間の記憶力のピークは18歳前後だと言われているようですが、ここで言う記憶力とは、新しいことを覚える能力であって、以前の記憶を忘れずにいる力ということではないようです。

8月には命日があります。20年以上経っても、その時のことは、まだまだ鮮明な記憶として蘇ってきます。それどころか、その時までの距離が次第に近くなっているようにさえ感じます。歳を重ねるごとに1年が早く過ぎていくようになるのは、自分の生きている時間の中で、1年が占める割合が次第に少なくなっていくからだとも言います。物理的な時間は常に積み重なっていても、自分の一生という一定の大きさの箱の中に、時間を小さく押しつぶしながら詰め込んでいっているのでしょうか。

同じ季節が巡り、同じ暑さ、同じけだるさの訪れる8月は、命日の訪れと共にどうしても過去に引きずり込まれていく感じがします。鮮明で、より近くに感じられるようになった記憶は、すぐにでも自分をその時に引き戻します。この夏の暑さのせいもあるのでしょうか、暑さからも、記憶からも、少し逃げ出したいと思う時があります。記憶にも避暑地のような場所があればいいのですが。(KN)